

東京科学大学 アントレプレナーシップ教育

きみが学ぶ科学を、 未来をつくる 力にしよう。

東京科学大学での学びは、

どう未来につながっていくのだろうか。

その問いの答えを、アントレプレナーシップ教育で見つけよう。

多様性を体感し、先人の知恵に触れ、自ら将来を描いてみる。

その経験が、きみと科学の可能性を、さらに広げてくれる。

きみが学ぶ科学で、社会を動かすために。

そして、きみ自身の人生を豊かにするために。

この大学での学びを、未来をつくる力にしよう。

アントレプレナーシップ科目で 未来をつくる5つの力を身につける

東京科学大学では、「専門教育」「教養教育」に加え、医歯理工学系人材として現代を生き抜くために必要な行動体系(マインドセット・スキル)を身につけるためのアントレプレナーシップ教育のカリキュラムを提供しています。
代表的な科目や受講生の声を紹介します。

キャリア構築

CAREER DEVELOPMENT

科目

将来のキャリアを考えるためのロールモデル理解

様々な分野で活躍する方々を講師に迎え、自身がこれまで歩んできたキャリアを学生へ共有。学生が研究室配属、大学院進学、就職などの岐路に立つ前に、将来のキャリアをイメージし、「いま、取り組むべきこと」を理解することを狙いとしています。



Student Voice



多彩な講師陣に学び、自身の軸を立てる

H.O.さん 材料系

学生課程2年次からキャリアを深く考察できるこの授業は、極めて有意義な体験となりました。独自の選択を重ねた多彩な講師陣の知見は、将来の展望を具体化する一助となったと感じます。各授業ではグループワークが実施され、「各自の価値観を交換する」というこれまでにない経験もできました。将来、岐路に立ったときにも自立的な判断をするため、在学中に自らのキャリアの軸を確立する重要性を再認識させてくれる内容です。

国際性

GLOBAL COMPETENCIES



科目

グローバル課題解決演習

留学生による指導と自分たちの調査に基づき、海外の社会課題の解決策を段階的に考えていく授業。調査したい国を選び、その国のデータを分析したり、現地の方へインタビューを行った上で、解決策を提案します。旅行で訪れるのとは違う視点で海外を理解する第一歩です。

Student Voice

課題解決に向けた現実的な視点を

M.H.さん 融合理工学系

私は入学した頃から国際協力で興味があり、学生課程1年次から受講しました。どのような立場から、何にフォーカスすればよいかといった「現実的な解決策」を様々な基準から判断できるようになり、将来、国際機関等で、現地の課題を解決していくイメージが湧きました。受講後、海外研修で訪れたベトナムでゴミや交通に関わる社会課題の現場に触れ、授業で学んだ視点が役立ったと感じました。この視点をさらに磨きたいと感じ、学生課程2年次も受講を続けています。



価値創造

VALUE CREATION

科目

学士価値創造グループワーク実践

学生が提案する事業アイデアの事業性検証 (Lean Launchpad Program)、またはハッカソン形式で行うウェブ・サービス開発 (Programming Boot Camp) に取り組む中で、自身のアントレプレナーシップを発揮し、「新たな価値を開拓し、社会に設定する」ことを実践します。



AI時代の開発は「対話」で深まる A.O.さん 情報工学系

Programming Boot Campの授業では、学内向けフリマサービス「TextNext」をチームで開発しました。本プログラムは、実装スキルの習得に留まらず、ユーザー視点で議論を重ね、サービスの解像度を上げていくプロセスを重視する内容です。AIで個人開発が可能な時代だからこそ、チームで対話してアイデアを深め「人に使ってもらえるサービス」を共創する経験は充実感があります。ぜひ「つくっただけでは終わらない」サービスづくりの醍醐味を体感してください。

Student Voice



リーダーシップ

LEADERSHIP

科目

学士リーダーシップ・グループワーク基礎

共感、課題設定、発想、理由の提示、交渉を通じたコミュニケーションなどの能力や、デザイン思考、システム思考といった方法論を取り上げ、トレーニングするワークショップが受講可能。年間30種類以上提供されるワークショップから自由に選択できます。



Student Voice



チーム力、対話力を実践的に鍛える

S.M.さん 融合理工学系

異なる背景を持つ学生との対話を通じ、「同じテーマでも見え方が変わる」面白さを実感しました。議論では相手の意向を汲んで主張する力や要約力が身につく、英語での対話への自信も深めることができました。特にネゴシエーションを鍛える授業で得た「納得感のある着地点を探る姿勢」は、将来の研究や産学連携にも直結するはずです。分野を超えた人脈をつくりたい人、実践的な対話力を鍛えたい人にぜひ受講をおすすめします。



科目

科学・技術の最前線

様々な分野の第一線で活躍する研究者が「科学・技術の最前線」について講義します。彼らがどのような考えで課題を設定し、それに向き合っているのかを理解するとともに、そこから自分の将来を考えてみてください。アントレプレナーシップに関わる話題も提供します。



科目

アントレプレナーシップ入門

「起業」に関する社会の要請や、起業家の狙い、伴走するベンチャーキャピタルの機能などの最新情報について、専門家や起業家からの提供のもとに議論する。起業に興味のある学生だけでなく、全学生に参加してほしい、視野と将来の選択肢を広げるための根幹となる科目。

先見性

FORESIGHT

Student Voice

人生の視野と選択肢を広げる学び

M.C.さん 社会・人間科学系

企業活動や投資、起業の世界を身近な社会の動きとして捉えられるようになるとともに、起業家の方々の葛藤を含む「生の経験」を伺ったことは、経済記事を読む視点を変えるなど、大きな契機となりました。起業を目指すかどうかにかかわらず、「新たな価値を生み出すとは何か」を考える姿勢は、あらゆる進路で生きる学びです。ぜひ履修してほしい、自らの視野と将来の選択肢を豊かにしてくれる授業です。



社会に出たときに、 その力の必要性を必ず実感する

大学時代の「点」を「線」に 自らに問い続け、未来を拓く



千葉のどかさん

2025年3月 博士後期課程修了
株式会社BitaP代表取締役

研究と起業準備の両立に悩んだ学生時代。アントレプレナーシップ教育では、自分に「不確実性の許容」が足りていないという気づきを得て、その後は物事に柔軟に挑戦できるようになりました。また、「リーダーシップとは何か」と問い続けられた経験は、起業後も「自分が実現したいことは何か、人生をかけて取り組む価値はあるか」と自問自答し続ける力になっています。大学で得た、複雑な課題に挑むための思考の枠組みと、志をさげ出せる仲間は生涯の財産。ぜひ未来に向かって「点」を増やし、自分だけの「線」を描いてください。

自分について深く考える機会が 夢に向かう原動力に



高橋俊介さん

2018年3月 博士後期課程修了
日野自動車株式会社 勤務

部活一筋の学生時代を経て進学した博士後期課程。そこで研究を完遂するには、学力やプレゼン力以上に「ゴールを見定め、複数人の研究や計画を動かすマネジメント力」が不可欠だと痛感。そのハードルの高さから、研究者の道を断念しました。この経験を無駄にしないよう、就職後は意識的にマネジメント力を磨いたことで、早期の昇進につながっています。アントレプレナーシップ教育は、自分の弱みや強みに気づき、夢の実現に向けて何をすべきかを考えるよい機会となります。未来を切り拓く力を磨いてください。

国際的な視点を養い 本質を問う姿勢が仕事に生きる



澤村新之介さん

2018年3月 修士課程修了
内閣官房 国家サイバー統括室 勤務(経済産業省から出向)

開発途上国の環境問題に関心を持ち、サークル活動を通して海外に出ていた学生時代。現地で試行錯誤した経験は「仕組み」を創る現在の仕事に大いに役立っています。アントレプレナーシップ科目で得た「本質的な課題は何か」を問い続ける姿勢は、技術を社会に普及させるための仕掛けを構想する業務でも常に意識しています。留学生とのグループワークでは、国際的な視点で課題を捉える重要性を体感しました。学生の特権は、関心の赴くままに挑戦できる時間と機会があること。迷ったらまず飛び込んでみてください。

主体的な行動が道を拓く 正解のない課題に挑む力



志村武信さん

2022年3月 修士課程修了
株式会社日立製作所 勤務

組織の中で評価され、結果を出す人に共通しているのは、新しい価値を生み出そうと主体的に行動している点です。私自身、正解のない新規プロジェクトに携わる中で、アントレプレナーシップ科目で学んだ「課題設定から仮説検証、実行までを自ら回す力」が大きな支えになっています。仮説を立て、関係者へヒアリングし、自身の考えを発表する経験は、社会に出ても恐れず行動する姿勢の土台となりました。学生のうちは失敗しても失うものではありません。今しかできない挑戦を通じ、ぜひ実践的なアントレプレナーシップを身につけてください。

自分と社会との関わりを 考える機会は、一生の財産



岡崎めぐみさん

2022年3月 博士後期課程修了
東京科学大学 理学院 助教

職業柄、研究に向かう学生の自主性を高めることを重視しており、その原点はアントレプレナーシップ教育での対話にあります。専門性や背景が異なるメンバーと互いを認め合い、興味をとことん掘り下げる議論を重ねたことで、相手の知的探求心を肯定して向き合う姿勢が身につきました。アントレプレナーシップは、「よし、発揮しよう!」と決めて発揮できるものではなく、自分と社会との関わりを真剣に考える中で備わるものです。どんな進路を選んでも、自分なりの在り方を考え抜く経験は一生の財産になります。

専門性を社会実装する力と 多様な価値観が変革の基盤に



砂原和允さん

2019年3月 修士課程修了
医療法人社団活寿会 勤務

当時の「グローバル理工人プログラム」で二度の短期留学を経験しました。多様な価値観に触れ、主体性やチャレンジ精神を発揮した経験が、医療法人経営における「変革への姿勢」の基盤となっています。専門性を磨きながら、与えられた役割にとどまらずに課題を発見し、周囲を巻き込んで社会に実装する力はVUCAの時代に不可欠な能力です。正解のない状況で考えて物事を前に進めた経験は、将来どんな分野に進んだとしても大きな糧になります。大学の恵まれた環境を最大限に活かし、アントレプレナーシップを意識的に培ってほしいと思います。

ものづくりセンター

自由なアイデアを形に
ものづくりスキルを磨く学生プロジェクトを支援



東京科学大学の強みである「ものづくり」を支える拠点として、自由なアイデアを形にするための様々な挑戦をサポートしています。研究の中で専門的に取り組む人から、趣味としてアクセサリ制作を楽しむ人まで、すべての学生が、自由に機器や設備を活用しながらものづくりの楽しさを実感し、実践を通じてアントレプレナーシップを育むことができる環境を整えています。

アントレプレナーシップ教育 紹介動画を公開中!



機構HPより
ご覧ください

